



障害のある方の学び ～私たちのプレジャンプ～

障害のある方、サポートをする方が、講義や話し合い体験を通して生涯学習への期待感を高めていける講座です。

無料講座

日		時		テ	マ	講	師
D1	9/17	(土)	10:00~11:30	「自助」とアウトドアスキル2022 ～アウトドアスキルを生かした調理～		日本赤十字秋田短期大学 講師 及川真一氏	
D2	11/5	(土)	10:00~11:30	障害のある方のICTを活用した学び ～秋田きらり支援学校の取組から 肢体不自由児、重度重複障害児中心に～		秋田県立秋田きらり支援学校 職員	
D3	11/26	(土)	10:00~11:30	いろんな表現方法を知ろう ～重い障害のある方(めんこさん)とのコミュニケーション～		特定非営利活動法人 にこっと秋田 代表理事 八代美千子氏	
D4	12/10	(土)	10:00~11:30	夢への挑戦 ～私にとっての水泳とは～		NPO法人障害者アクアレッスン ミラクルスイミー 谷内祐子氏 菅原紘汰氏	

D1 及川真一氏の「非日常の災害時を日常に落とし込み、楽しむ気持ちをもって備え、自助力を上げていく」という考え方について学びながら、センターの駐車スペースで「ポリ袋炊き込みご飯」を体験しました。アウトドア用のガスバーナーや、カラフルな調味料が並ぶ体験スペースは、さながらキャンプのようでした。受講者は事前に準備した具材でオリジナル炊き込みご飯を楽しみ、「避難所は耐える場所ではなく希望をもてる場所」という捉え方についても学びました。



D2 鈴木陽氏は、障害のある児童生徒の学校生活を豊かにするICTの取組として、秋田きらり支援学校の児童生徒が授業や課外活動にICTを活用している例を紹介しました。

手足の動き、発声に制限がある児童生徒が、スイッチを工夫することでプレゼンテーションソフトを動かしたり、司会の役割を担ったりする実践について、写真や実物を見ながら学ぶことができました。病室と教室を結び授業を受ける事例や、遠隔操作ロボット「OriHime」の操作を体験し、様々な活用方法について知ることができました。



D3 八代美千子氏の看護師としての経験、保護者との出会いや言葉など、にこっと秋田を設立する経緯についての紹介がありました。目指しているのは「笑顔で共に生きる社会」。

重い障害のある方たちの日常を豊かにするために、保護者と共に「にのに商店」を開いたり、たくさんの方たちの協力を得て外で過ごしたりしている活動について話されました。

視線入力によるコンピュータグラフィックも体験できました。



D4 菅原紘汰氏は、5歳から水泳を始め、金メダリストとの出会い、パラリンピックという大きな目標に向かって取り組むことについて動画を使って紹介し、「理解してくれる友達がいる、周りとのつながりに感謝している」と語りました。谷内氏は大会でのエピソードを交えながら、菅原氏の強さや、アスリートを支える喜びなどを伝えてくれました。

